

平成 27 年 5 月 29 日
総務部行財政改革推進課

次期の行財政改革の取組について

1 現状

行財政改革の推進にあたっては、「自立した地域経営」を実現することにより、「みえ県民カビジョン」の着実な推進につなげるため、「人づくりの改革」、「財政運営の改革」、「仕組みの改革」の3つを取組の柱とした「三重県行財政改革取組」を平成 24 年 3 月に策定し、平成 24 年度から平成 27 年度を取組期間として、全庁を挙げ取り組んでいるところであり、ベースとなる基本的な仕組み等を整備しました。

現在は、すべての具体的取組での達成に向け全力で取り組んでいるところですが、取組期間の最終年度となったことから、平成 28 年度以降の取組のあり方について検討を始める必要があります。

(「三重県行財政改革取組」で整備した主な基本的な仕組み等)

【人づくりの改革】

- 「三重県職員人づくり基本方針」の策定
- 「三重県職員研修実施計画」の策定
- OJTリーダーの設置

【財政運営の改革】

- 新しい予算編成プロセスの構築
- ネーミングライツの導入など多様な財源確保策の導入
- 「みえ森と緑の県民税」の導入

【仕組みの改革】

- 「みえ成果向上サイクル(スマートサイクル)」の構築
- 本庁部局の再編・地域機関の見直し
- 「三重県外郭団体等改革方針」に基づく見直し

2 平成 28 年度以降の取組に向けた基本的な方針

現行の取組により、行財政改革の一定の進捗が図られたところですが、本県の財政状況は、引き続き極めて深刻な状況にあることや、人口減少克服・地方創生に向けた国・地方を挙げた本格的な動きなどの新たな課題等への的確な対応が求められている状況においては、行財政改革のさらなる推進が求められます。

こうしたことから、次に掲げる観点を踏まえ、今後、平成 28 年度以降の取組について検討を進めることとします。

現行の「三重県行財政改革取組」の検証

平成 24 年度から取り組んできた「三重県行財政改革取組」について、これまでの取組状況を検証し、残された課題等の解決に向けた今後の方策を検討します。

次期「みえ県民力ビジョン・行動計画」の着実な推進

平成 27 年度中に策定が予定されている次期の「みえ県民力ビジョン・行動計画」の着実な推進が図れる行政運営に向けて、必要とされる取組について検討します。

機動的で柔軟かつ弾力的な行政運営の推進

社会情勢の変化等に伴い、今後もさまざまな行政ニーズが時代の要請として増大することが想定され、それらにスピード感を持つて的確に対応する必要があることから、機動的で柔軟かつ弾力的な行政運営の推進に向けて必要とされる取組について検討します。

3 今後の検討体制・スケジュール

これまでの「三重県行財政改革取組」の推進体制である知事を本部長とする「三重県行財政改革推進本部」を中心に、2 で掲げた基本方針に基づき下記のスケジュールで検討を進めることとします。

平成 27 年 5 月～8 月

現行の「三重県行財政改革取組」の検証

次期「みえ県民力ビジョン・行動計画」の着実な推進に向けた課題等の整理

機動的で柔軟かつ弾力的な行政運営の推進に向けた課題等の整理

平成 27 年 9 月

県議会 9 月定例会月会議において素案を説明

平成 27 年 11 月

県議会 11 月定例会月会議において中間案を説明

平成 27 年 12 月～平成 28 年 1 月

パブリックコメントの実施

平成 28 年 2 月

県議会 2 月定例会月会議において最終案を説明